

建武の新政

新政

南北朝の動乱

室町幕府の機構 (足利義満の頃に整う)

1334 年～**建武の新政** (天皇親政の復活→幕府・摂関・院政を否定)

- (1) **延喜・天曆の治** (醍醐・村上天皇の治世) を模範
- (2) **綸旨** (天皇の意思を伝える文書) を絶対万能とする
個別安堵法 (土地の所有権の確認は綸旨が唯一の根拠)
- (3) **大内裏の造営計画** (造営費のため造幣・新税を計画)
- (4) **乾坤通宝の発行計画** (新貨幣・新紙幣の発行を計画)

――〔新政の混乱〕――

- ① **武士の不满** (武家社会の慣習を無視 (御成敗式目の年紀法などを否定))
(恩賞の不公平・大内裏造営費として二十分の一税の負担)
- ② **公家の不满** (公家社会の慣習を否定 (家柄の無視・恣意的な官職の任免))
- ③ **農民の不满** (大内裏の造営計画などにより農民の負担が増大したため)
ex. 若狭国太良荘 (東寺(教王護国寺)領) が提出した申状

〔建武の新政の職制〕

中央

- 記録所 (重要政務)
- 武者所 (京都警備)
- 恩賞方 (恩賞事務)
- 雑訴決断所 (所領訴訟の裁判)
★雑訴決断所は鎌倉幕府の引付を継承

天皇

地方

- 国司・守護の併置
- 陸奥将軍府 (義良親王・北畠顕家)
- 鎌倉将軍府 (成良親王・足利直義)
★足利尊氏は新政府の役職に就いていない

1334 年 二条河原の落書 (新政への風刺) in 『建武年間記』

1335 年 **中先代の乱** (北条時行 (北条高時の子) が信濃で挙兵し、鎌倉を一時占拠)
鎌倉将軍府が占拠された混乱に乗じて、足利直義が幽閉中の護良親王を殺害
→足利尊氏が反乱を鎮圧して鎌倉を奪回した後、建武政権に反旗をひるがえす

1336 年 湊川の戦い (摂津国) (楠木正成が戦死)
→入京した足利尊氏は**光明天皇** (持明院統) を擁立 (北朝)
→その後、後醍醐天皇 (大覚寺統) は**吉野**へ逃れる (南朝)
★光明天皇に偽の三種の神器を譲渡→以後、約60年間近く南北朝の動乱が続く

図解NOTE [天皇家系図]

```
graph TD
    龜山[龜山] --> 後醍醐[後醍醐]
    光明[光明] --> 光厳[光厳]
    後醍醐 --> 懐良親王[懐良親王]
    後醍醐 --> 成良親王[成良親王]
    後醍醐 --> 義良親王[義良親王]
    後醍醐 --> 護良親王[護良親王]
    護良親王 --> 後村上[後村上]
    後村上 --> 後龜山[後龜山]
    後村上 --> 後小松[後小松]
    光明 --> 持明院統[持明院統(北朝)]
```

〔北朝 = 光明天皇 (持明院統) in 京都 (山城国)〕

『梅松論』 (北朝の正統性を示す)
★作者不詳→尊氏側近の武将によって執筆されたものか?

VS

〔南朝 = 後醍醐天皇 (大覚寺統) in 吉野 (大和国)〕

北畠親房『神皇正統記』 (南朝の正統性を示す)
★奥州・東国で南朝勢力の維持・拡充に努める→常陸国の小田城で執筆

1336 年 **建武式目** (足利尊氏が定めた17カ条の当面の政治方針)
足利尊氏の諮問に中原章實 (是円) らが答申する形式

- ①幕府の所在地の選定 (鎌倉におくか京都に移すか)
- ②政道の事 (1) 倭約を行ない婆佐羅 (派手な行動) を禁止
(2) 守護には戦功よりも能力を重んじて任命

★基本法令 = 御成敗式目・追加法令 = 建武以来追加

1338 年 **足利尊氏が征夷大將軍に就任**

VS

1338 年 石津の戦い (和泉国) (北畠親房が戦死)

1338 年 藤島の戦い (越前国) (新田義貞が戦死)
★後醍醐天皇が死去 (1339) →後村上天皇 (義良親王) が即位

1348 年 四條畷の戦い (河内国) (楠木正行が戦死)
★北朝側の高師直が吉野を焼き打ち→南朝側は賀名生へ逃れる

室町幕府の機構 (足利義満の頃に整う)

中央

- 奉公衆 (室町幕府の直轄軍→平時は将軍の護衛や御料所の管理にあたる)
- 管領 (將軍補佐)
 - ★三管領から任命
細川・斯波・畠山
 - 侍所 (京都の警備・裁判) 長官 = 所司
★所司は四職から任命 (所司は山城国守護を兼任)
四職 = 京極・山名・赤松・一色
 - 政所 (幕府の財政・事務) 長官 = 執事
 - 問注所 (記録・訴訟文書の保管) 長官 = 執事
- 〔鎌倉府 (関東8カ国+伊豆・甲斐、後に陸奥・出羽を統治)〕
鎌倉公方 (鎌倉府長官) ———— 関東管領 (鎌倉公方補佐)
足利基氏 [初代鎌倉公方] 上杉氏が世襲

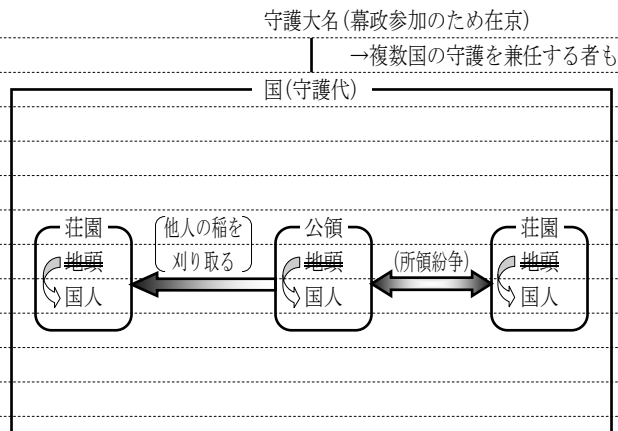
地方

- 九州探題 (九州統治) = 今川貞世 (了俊) (初代)
- 奥州探題 (陸奥統治)・羽州探題 (出羽統治)

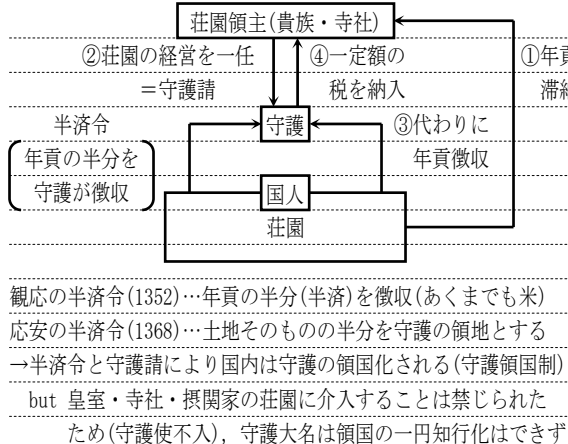
直轄領	御料所 (幕府の直轄する荘園)
商工業者 政所が徴収	倉役 (土倉から徴収) 酒屋役 (酒屋から徴収)
庶民 守護が徴収	段銭 (田地1段ごとに課した臨時税) 棟別銭 (家屋1棟ごとに課した臨時税)
関・津	関銭 (関所での通行税) 津料 (港での入港税)
貿易	抽分銭 (日明貿易の際の輸入税として 貿易商から利益の1/10を徴収)
その他	分一銭 (幕府に納入する債権・債務 額の1/5 or 1/10の手数料)

室町幕府の動向		守護大名の成長と抑圧
尊氏氏	<p>1338年~足利尊氏(兄)・足利直義(弟)の二頭政治 尊氏(軍事指揮権など主従制的支配権を担う) 直義(所領裁判権など統治権的支配権を担う)</p> <p>〔親応の擾乱(1350~52)〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(急進派) 足利尊氏(征夷大將軍) 高師直(尊氏の執事)</p> <p>〔伝統的権威を否定し、在地での武士の権益拡大を支持〕</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;">VS</div> <div style="width: 45%;"> <p>(漸進派) 足利直義(尊氏の弟) 足利直冬(直義の養子)</p> <p>〔伝統的権威の秩序維持を尊重し、公武協調を模索〕</p> </div> </div> <p>★ばさら(伝統無視・派手な行動)として近江の佐々木尊賢も有名 ①足利直義が高師直を殺害→足利尊氏が鎌倉で足利直義を毒殺 ②足利直冬が尊氏に敗北→のち、尊氏は子の足利義詮に將軍を譲る</p>	<p>★国人(地縁的に結びつき、自立的な権力を強めた荘官・地頭などの在地領主)</p> <p>1346年 刈田狼藉(他人の稲を刈り取る行為)の取り締まり権 使節遵行権(裁判の判決を幕府に代わり守護が強制的に執行する)</p>
	<p>→1352年 半済令(親応令) 莊園・公領の年貢の半分の兵糧米として徴収する権利を守護に認める ★戦乱の激しかった近江・美濃・尾張の3国で1年限りの臨時に施行 →のち、各地の守護たちの要望により全国的・永続的に行われる</p>	
義詮	<p>1368年 足利義満が3代將軍に就任(←足利義詮の死去) 管領の細川頼之(のち康暦の政変で失脚)が足利義満を輔佐</p> <p>〔九州における南朝の抵抗〕</p> <p>1371年 南朝の懷良親王(征西將軍)が九州を統一 1372年 北朝の今川貞世(了俊)(九州探題)が制圧</p>	<p>→1368年 半済令(応安令) ①皇室・寺社・摂関家領を除いた莊園・公領の年貢の半分の徴収 ②莊園・公領の下地そのものの折半を認める(事実上の下地中分) ★守護請(守護が莊園・公領の一定の年貢納入を請け負う制度)</p>
義満	<p>1378年 幕府を京都三条殿から京都室町殿に移転 足利義満が京都に建てた將軍邸は「花の御所」と呼ばれる</p> <p>〔朝廷の京都市政権(検非違使の管轄)接收〕</p> <p>侍所(検非違使の京都警察権・裁判権を接收) 政所(検非違使の京都商業課税権(倉役・酒屋役の徴収)を接收)</p>	<p>〔国衙の行政機能の吸収(守護の権限強化を背景に獲得)〕</p> <p>段銭・棟別銭(田地・家屋ごとに賦課する権限を朝廷(国司)から接收)</p> <p>〔守護大名の成長〕</p> <p>守護は幕府から与えられたこれらの権限を行使し、国人を被官(家臣)とし、一国全体に及ぶ支配を確立した守護大名へと成長。守護が任国を領国化した支配体制を守護領国制、守護の代官を守護代というが、一元知行化はできず</p> <p>↓(勢力が強大化しすぎた守護大名を足利義満が抑圧)</p> <p>1390年 土岐氏の乱 by 土岐康行(美濃中心の守護大名) 1391年 明德の乱 by 山名氏清(山陰中心の守護大名) 11カ国の守護を兼任→六分一殿(六分一衆)と称された 1399年 応永の乱 by 大内義弘(周防・長門中心の守護大名) 6カ国の守護を兼任→堺(和泉国)で反乱を起こすが敗死</p>
	<p>1392年 足利義満の斡旋で南北朝が合一 後龜山天皇(南朝)が後小松天皇(北朝)に譲位 →三種の神器(皇位の象徴としての鏡・剣・玉)を譲渡</p> <p>↓</p> <p>1394年 足利義満が太政大臣に就任(征夷大將軍を辞任) 翌年出家して道義と名乗る→北山殿(のち鹿苑寺金閣)を建立</p>	

図解NOTE① [守護大名の成長]



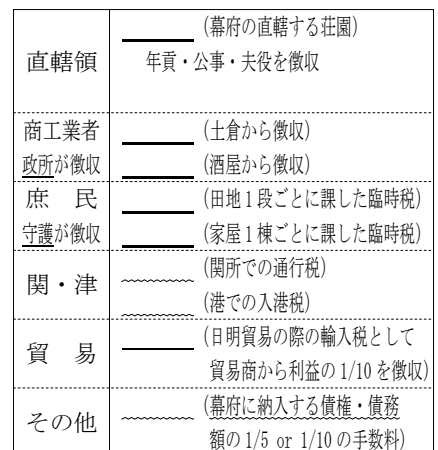
図解NOTE② [半済令・守護請]



南北朝の動乱

[新政の混乱]

- 室町幕府の機構（の頃に整う）



図解NOTE①【守護大名の成長】

守護大名(幕政参加のため在京)
→ 複数国の守護を兼任する者も

図解NOTE②【半済令・守護請】